



# ケーブル管理マニュアル

---

Sun Fire™ ハイエンドサーバーシステム

Sun Microsystems, Inc.  
www.sun.com

Part No. 817-6864-10  
2004 年 4 月, Revision A

コメント送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、AnswerBook2、docs.sun.com、Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights-Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Cable Management Guide, Sun Fire High-End Server Systems  
Part No: 817-1753-10v2  
Revision A



# 目次

---

ケーブル管理	1
ケーブルストラップ	1
黒の管理ストラップの取り付け	4
緑の保守ストラップの取り付け	6
コンポーネントの保守	10
I/O ボードセット	10
エアプリナムパネルの吸気スクリーン	10
下部ファントレーおよび左右の電源装置	13
中央の電源装置	15
エアフィルタ	16



# 図目次

---

- 図 1          フル構成のケーブル管理   3
- 図 2          上部の I/O ケーブルの束   4
- 図 3          エアプリナムのケーブルハンガーストラップ   4
- 図 4          ケーブルを固定するケーブルハンガーストラップ   5
- 図 5          電源装置の下部の I/O ケーブルの束   5
- 図 6          SC0 およびスロット SB0 のケーブル (正面)   5
- 図 7          SC0 およびスロット SB0 のケーブル (正面)   6
- 図 8          正面ドアの保守ストラップ   7
- 図 9          背面ドアの保守ストラップ   8
- 図 10         エアプリナムの保守ストラップ   9
- 図 11         エアプリナムの取り外し (正面)   10
- 図 12         ファントレイおよび電源装置の保守 (正面左側)   13
- 図 13         中央の電源装置の取り外し (正面)   15
- 図 14         エアフィルタの取り外し (左側)   16



# ケーブル管理

---

ケーブル管理キットは、黒の管理用ストラップを使用して、ケーブルを順序正しく整理して管理できるように設計されています。また、このキットには、コンポーネントを取り外す際にケーブルを固定するために取り付ける、緑の保守用ストラップも含まれています。このキットを使用すると、1人の技術者だけでコンポーネントの保守を行うことができます。

---

## ケーブルストラップ

このキットには、システムケーブルの管理に使用する、6種類のケーブルストラップが入っています。

---

**注** – フル構成のシステムの場合、ケーブルストラップの取り付けにかかる平均時間は、約1時間以内です。

---

1つのキットで、Sun Fire™ システムの正面の管理に必要なケーブルストラップと予備のストラップが提供されます。

システムの正面および背面のケーブルを管理する場合は、キットが2つ必要です。システムの正面のみを管理する場合は、背面ドア用のストラップは廃棄できます。

表 1 ケーブルストラップの説明

ストラップ	ストラップの ID 番号	説明	各キットに含まれる数
黒の管理 ストラップ	5	25.4 cm (10.0 インチ) の黒のケーブルストラップ	14 個 (予備 2 個)
	4	15.2 cm (6.0 インチ) の黒の小型ケーブルストラップ	9 個 (予備 2 個)
	3	15.2 cm (6.0 インチ) の黒のタイラップ付きケーブルハンガーストラップ	10 個 (予備 2 個)
緑の保守 ストラップ	1	30.5 cm (12.0 インチ) の緑のタイラップ付きケーブルハンガーストラップ (エアプリナムの保守ストラップ)	2 個 (予備 2 個)
	6	45.7 cm (18.0 インチ) の緑のケーブルストラップ (正面ドアの保守ストラップ)	4 個 (予備 2 個)
	2	129.5 cm (51.0 インチ) の緑のバックルストラップ (背面ドアの保守ストラップ)	2 個

必要な工具類

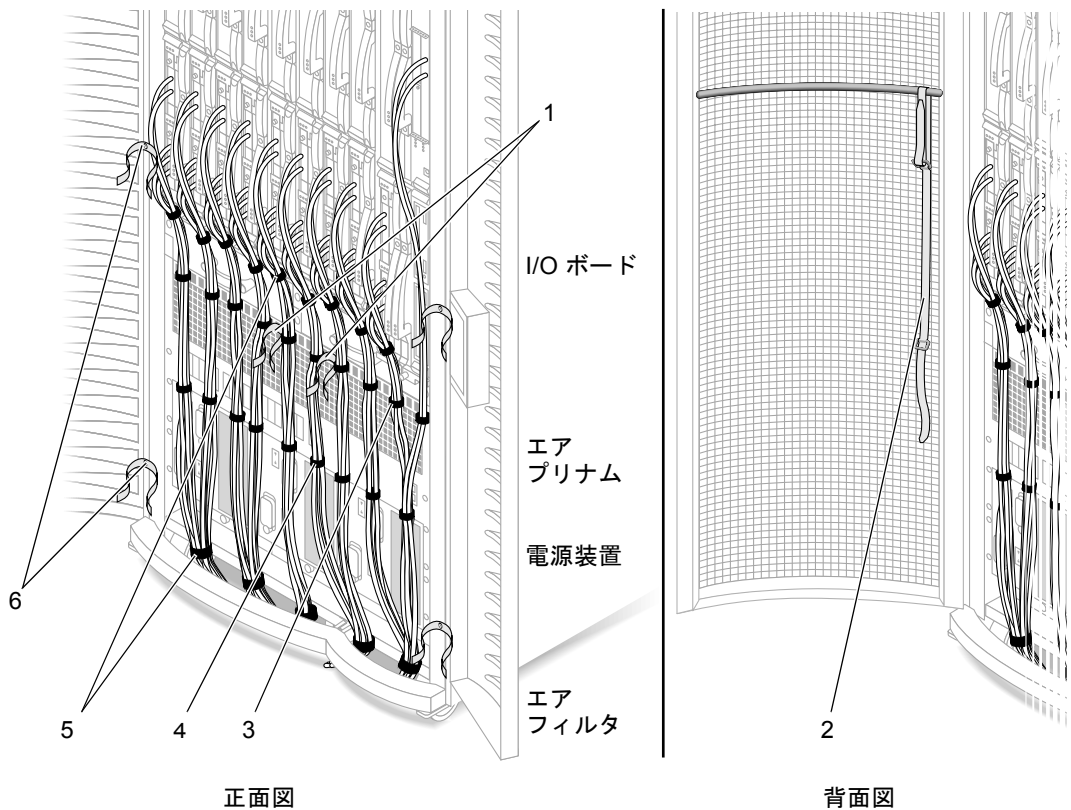
- ペンチ
- ねじ回し (システムの出荷キットに含まれているもの、または同等のもの)

各システムボードセットのケーブルは、以降の手順に示すとおり、それぞれ 1 つに束ねておく必要があります。これによって、隣接するボードセットのケーブルに損傷を与えることなく、1 つの I/O ボードセットでの作業および取り外しを容易に行うことができます。

図 1 に、フル構成の Sun Fire システムの標準的なケーブル管理計画 (正面図) を示します。



スロット : SB17 16 15 14 13 12 11 10 9 SC1 背面  
 SB8 7 6 5 4 3 2 1 0 SC0 正面



- |  |   |
|--|---|
| 1 30.5 cm (12.0 インチ) の緑のタイラップ付き<br>ケーブルハンガーストラップ (2 個ずつ) | 4 15.2 cm (6.0 インチ) の黒の小型ケーブル<br>ストラップ (9 個ずつ)        |
| 2 129.5 cm (51.0 インチ) の緑のバックルスト<br>ラップ (背面ドアに 2 個)       | 5 25.4 cm (10.0 インチ) の黒のケーブルスト<br>ラップ (14 個ずつ)        |
| 3 15.2 cm (6.0 インチ) の黒のタイラップ付き<br>ケーブルハンガーストラップ (10 個ずつ) | 6 45.7 cm (18.0 インチ) の緑のケーブルスト<br>ラップ (正面の各ドアに 2 個ずつ) |

図 1 フル構成のケーブル管理

注 - ケーブル管理キットに含まれている 2 個の 129.5 cm (51.0 インチ) の緑のバックルストラップ (No. 2) は、コンポーネントを保守する際にケーブルを支えるために、背面ドアの上部クロスバーに掛けておきます。

## 黒の管理ストラップの取り付け

次の手順は、Sun Fire システムの正面および背面に対して実行します (必要である場合)。

1. 各 I/O ケーブルセットに対して、I/O ボードの下部で、I/O ケーブルセットのいずれかのケーブルに、25.4 cm (10.0 インチ) の黒のケーブルストラップ (No. 5) をストラップの差し込み口に差し込んで取り付けます (図 2)。

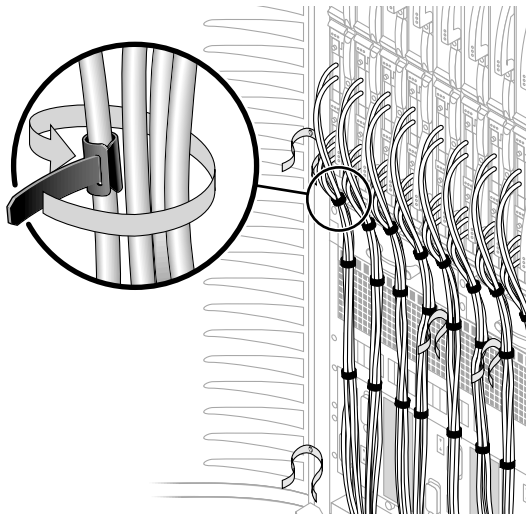


図 2 上部の I/O ケーブルの束

2. 続けて、I/O ボードセットの残りのケーブルを同じ黒のケーブルストラップで束ねます (No. 5)。

フル構成のシステムの場合、システムには 9 組のケーブルが縦方向に掛かっている状態になります。システムコントロール (SC) ケーブルは、束ねずに垂れ下がっている状態です。

3. 構成の要件に応じて、サンのラベルとタイラップが付いた 15.2 cm (6.0 インチ) の黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) を、エアブリナムの穴の部分にタイラップでしっかりと結びます (図 3)。

このストラップは、I/O ボードケーブルセットの束および SC ケーブルに対して垂直に掛けます。

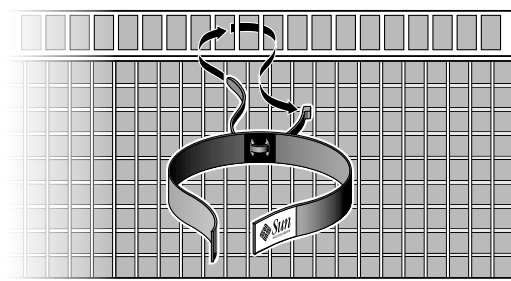


図 3 エアブリナムのケーブルハンガーストラップ

4. ペンチまたは同等の工具を使用してエアブリナムに付けたタイラップの端を切断し、固定された黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) に、各 I/O ボードセットケーブルの束と SC ケーブルを垂直に固定します (図 4)。

フル構成のシステムの場合、システムの正面または背面に 10 組の I/O ケーブルまたは SC ケーブルが縦方向に掛かっている状態になります。

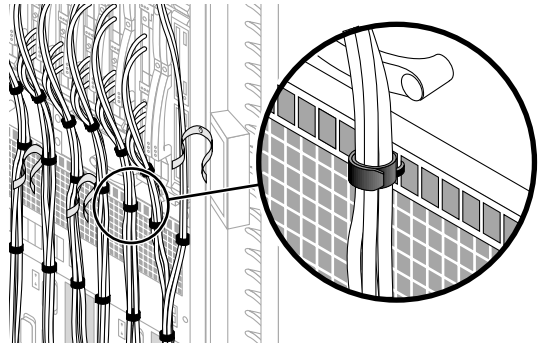


図 4 ケーブルを固定するケーブルハンガーストラップ

5. 電源装置の上部で、各 I/O ケーブルセットのいずれかのケーブルに、15.2 cm (6.0 インチ) の黒の小型ケーブルストラップ (No. 4) をストラップの差し込み口に差し込んで固定します (図 5)。
6. 続けて、I/O ボードセットの残りのケーブルを同じ黒の小型ケーブルストラップで束ねます (No. 4)。

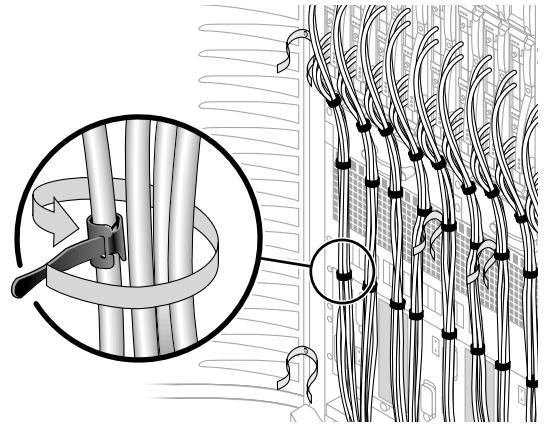


図 5 電源装置の下部の I/O ケーブルの束

7. 残りの I/O ボードセットケーブルに対して手順 5 および手順 6 を実行します。SC ケーブルは、システムの正面にあるスロット SB0 またはシステムの背面にあるスロット SB9 のケーブルと一緒に束ねます (図 6)。

フル構成のシステムの場合、システムの正面または背面に 9 組のケーブルが縦方向に掛かっている状態になります。

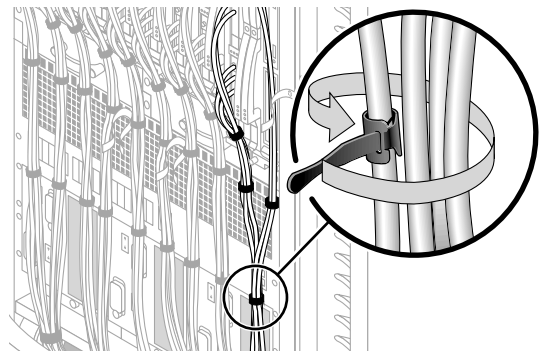


図 6 SC0 およびスロット SB0 のケーブル (正面)

8. システムの底部で、隣接する 2 組の束をまとめて、その束のいずれかのケーブルに、25.4 cm (10.0 インチ) の黒のケーブルストラップ (No. 5) をストラップの差し込み口に差し込んで固定します (図 7)。

9. 続けて、2 つをまとめた I/O ボードセットの残りのケーブルを同じ黒のケーブルストラップ (No. 5) で束ねます。

フル構成のシステムの場合は、次のような 5 つの組み合わせで束ねることをお勧めします。

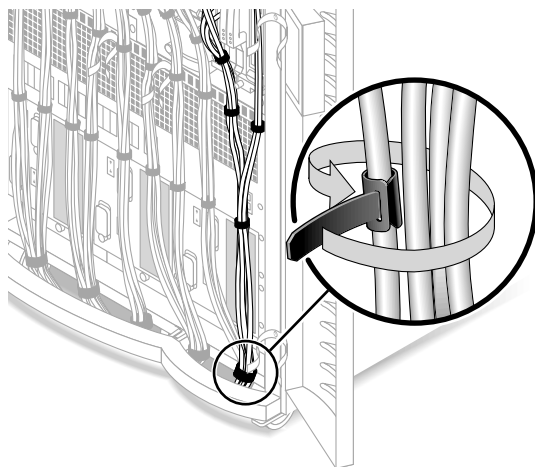


図 7 SC0 およびスロット SB0 のケーブル (正面)

- 正面では I/O 7 と I/O 8 のケーブル、背面では I/O 16 と I/O 17 のケーブル
- 正面では I/O 5 と I/O 6 のケーブル、背面では I/O 14 と I/O 15 のケーブル
- 正面では I/O 4 のケーブル、背面では I/O 13 のケーブル
- 正面では I/O 2 と I/O 3 のケーブル、背面では I/O 11 と I/O 12 のケーブル
- 正面では I/O 0、I/O 1、SC0 のケーブル、背面では I/O 9、I/O 10、SC1 のケーブル

## 緑の保守ストラップの取り付け

緑の保守ストラップは、エアプリナムパネル吸気スクリーンのハニカムフィルタ、下部ファントレー、電源装置、および底部エアフィルタの日常的な保守を行うために取り付けます。コンポーネントの保守作業でのケーブルの取り扱い方法については、「コンポーネントの保守」を参照してください。

次の手順は、システムの背面ドアに使用する 129.5 cm (51.0 インチ) の緑のバックルストラップ (No. 2) を除いて、システムの正面および背面に適用されます。

## ドアの保守ストラップ

正面および背面ドアには設計上の違いがあるため、日常的な保守を行うときにケーブルの束を固定するために取り付ける緑の保守ストラップは 2 種類あります。背面ドアのケーブルの固定を容易にするために、ケーブル管理キットには 129.5 cm (51.0 インチ) の緑のバックルストラップ (No. 2) が含まれています。

正面ドアの場合、次の手順を実行します。

1. ヒンジ側で、プラスのねじ回しを使用して、右側のドアの下から 10 番目の M4×10 ねじと左側のドアの下から 11 番目の M4×10 ねじを外します。

---

注 - 保守ストラップを取り付けるときは、内側のドアの素材がはがれないように、M4×10 ねじを 3.0 回転以上回さないでください。ストラップは、緩く取り付けてください。

---

2. 45.7 cm (18.0 インチ) の緑のケーブルストラップ (No. 6) を取り付けて、M4×10 ねじで固定します (図 8)。

このストラップは、どちら側のグロメットを使用して取り付けてもかまいません。

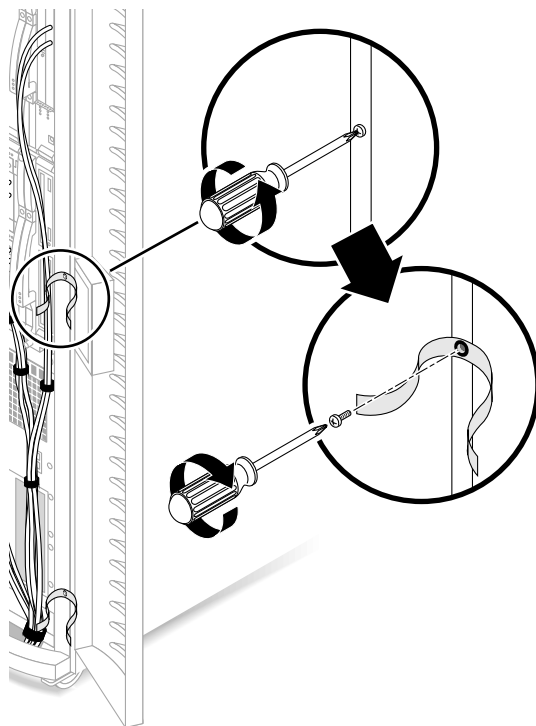


図 8 正面ドアの保守ストラップ

3. 同じドアで、プラスのねじ回しを使用して、下から 2 番目の M4×10 ねじを外します。
4. 45.7 cm (18.0 インチ) の緑のケーブルストラップ (No. 6) を取り付けて、M4×10 ねじで固定します。

背面ドアの場合、次の手順を実行します。

背面ドアの緑のバックルストラップ (No. 2) の長さは 129.5 cm (51.0 インチ) です。ドアの上部クロスバーに使用するバックルの端の長さは約 43.2 cm (17.0 インチ) で、ケーブルの固定に使用するもう一方のバックルの端の長さは約 30.5 cm (12.0 インチ) です。

1. 129.5 cm (51.0 インチ) の緑のバックルストラップ (No. 2) の 43.2 cm (17.0 インチ) の方の端を、ドアのヒンジ側の上部クロスバーに掛けます (図 9)。
2. ストラップ (No. 2) の 43.2 cm (17.0 インチ) の方の端を、バックルを手前に向けてクロスバーの下から上に通し、その端をバックルに通します。
3. ストラップのフック側 (プラスチック製のフック) をストラップのループ側 (毛羽だった素材) に緩く固定します。

保守作業中に、ケーブルに適度な張りを持たせて固定できるように、ストラップはドアのヒンジの近くまで寄せておいてください。

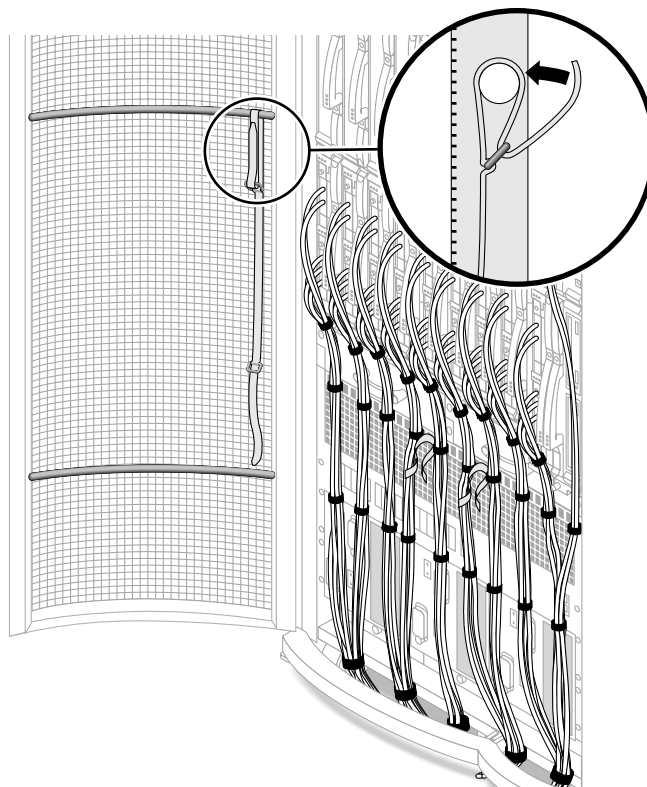


図 9 背面ドアの保守ストラップ

4. 保守を行うとき以外は、各ドアのストラップの下部分を上部クロスバーの上に持ち上げて、エアブリナムからストラップを離しておきます。

---

注 - 保守作業中はストラップの下部分でケーブルを固定しますが、このとき、クロスバーに取り付けられているストラップの上部分を締め直してケーブルを持ち上げると、コンポーネントを取り外している場所から離すことができます。

---

## エアプリナムの保守ストラップ

システムの正面では、次の手順を実行します。

1. エアプリナムの中央で、1本の 30.5 cm (12.0 インチ) の緑のタイラップ付きケーブルハンガーストラップ (No. 1) を、スロット SB4 と SB5 の間にしっかりと結び付け、タイラップの端を切断します。
2. エアプリナムの中央で、1本の 30.5 cm (12.0 インチ) の緑のタイラップ付きケーブルハンガーストラップ (No. 1) を、スロット SB2 と SB3 の間にしっかりと結び付け、タイラップの端を切断します (図 10)。

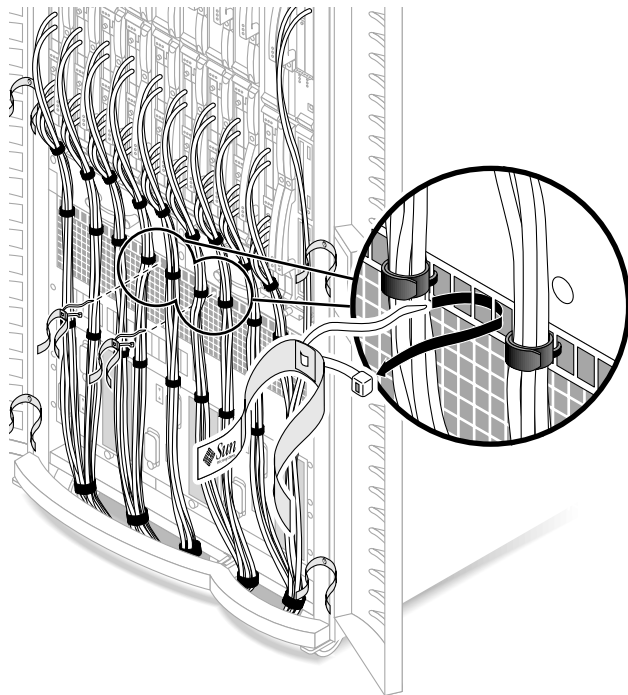


図 10 エアプリナムの保守ストラップ

システムの背面では、次の手順を実行します。

1. エアプリナムの中央で、1本の 30.5 cm (12.0 インチ) の緑のタイラップ付きケーブルハンガーストラップ (No. 1) を、スロット SB13 と SB14 の間にしっかりと結び付け、タイラップの端を切断します。
2. エアプリナムの中央で、1本の 30.5 cm (12.0 インチ) の緑のタイラップ付きケーブルハンガーストラップ (No. 1) を、スロット SB11 と SB12 の間にしっかりと結び付け、タイラップの端を切断します。

## コンポーネントの保守

束ねたケーブルは、取り外し可能なコンポーネントの保守を行うときにケーブルを持ち上げることができるように、フロアタイルの下で十分なゆとりを持たせて、できるかぎり垂直に掛けてください。フロアタイルの切り込みの端が鋭くないことを確認してください。端が鋭くなっているとケーブルが損傷する可能性があるため、システムでのコンポーネントの出し入れは慎重に行ってください。

## I/O ボードセット

I/O ボードの保守を行う場合は、すべてのケーブル管理ストラップを所定の位置に取り付けたままにしておきます。接続されていないケーブルセットは、エアブリナムに取り付けた黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) から垂れ下がった状態になります。I/O コンポーネントの取り外しおよび取り付け手順については、システムのサービスマニュアルを参照してください。

## エアブリナムパネルの吸気スクリーン

正面左側では、次の手順を実行します。

1. 左側の 5 つのケーブルの束を、エアブリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) から外します。
2. フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、5 つのケーブルの束をシステムの左側に持ち上げます。
3. この束を、すぐ近くのドアにある上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します (図 11)。

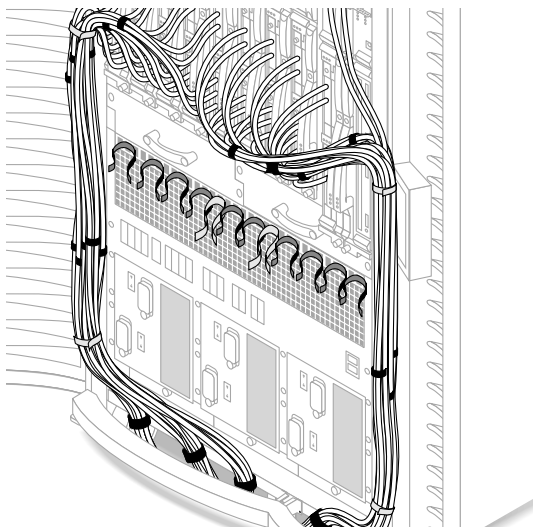


図 11 エアブリナムの取り外し (正面)



4. システムの正面にある上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) にかかる負担を減らすために、ケーブルをさらに引き上げて、ドアの下部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。

ケーブルをしっかり固定して、エアプリナムパネルを取り扱う際に必要なスペースを十分に確保します。

正面右側では、次の手順を実行します。

1. 右側の 4 つのケーブルの束および SC ケーブルの束を、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) から外します。
2. フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、4 つの束をシステムの右側に持ち上げます。
3. この束を、すぐ近くのドアにある上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します (図 11)。
4. システムの正面にある上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) にかかる負担を減らすために、ケーブルをさらに引き上げて、ドアの下部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。

ケーブルをしっかり固定して、エアプリナムパネルを取り扱う際に必要なスペースを十分に確保します。

---

注 – エアプリナムパネル吸気スクリーンのフィルタの交換手順については、システムのサービスマニュアルを参照してください。

---

5. システムの正面での保守作業が完了したら、4 つの緑のケーブルストラップ (No. 6) を外し、すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。

背面左側では、次の手順を実行します。

1. 左側の 5 つのケーブルの束を、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) から外します。
2. フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、5 つのケーブルの束をシステムの左側に持ち上げます。
3. すぐ近くのドアにある緑のバックルストラップ (No. 2) の下側の端を使用して、左側の 5 つのケーブルの束を固定します。  
ケーブルの束の周りにストラップの端を巻き付けて、ストラップの端を下部のバックルに通し、ストラップを固定します。
4. クロスバーの緑のバックルストラップ (No. 2) の上部の端を締め直して調整し、ケーブルを上を持ち上げてコンポーネントから離します。

背面右側では、次の手順を実行します。

1. 右側の 4 つのケーブルの束および SC ケーブルの束を、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) から外します。
2. フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、4 つの束をシステムの右側に持ち上げます。
3. すぐ近くのドアにある緑のバックルストラップ (No. 2) の下側の端を使用して、右側の 4 つのケーブルの束を固定します。  
ケーブルの束の周りにストラップの端を巻き付けて、ストラップの端を下部のバックルに通し、ストラップを固定します。
4. クロスバーの緑のバックルストラップ (No. 2) の上部の端を締め直して調整し、ケーブルを上を持ち上げてコンポーネントから離します。

---

注 – 緑のバックルストラップ (No. 2) の下の部分は、フル構成ではないシステムの場合に最小数のケーブルにも対応できるように設計されています。ストラップの上の部分は、ケーブルを最大限に持ち上げられるようにしっかりと締めてください。

---

5. システムの背面での保守作業が完了したら、緑のバックルストラップ (No. 2) の下のバックルを外して、上部クロスバーのストラップの端を元に戻します。すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。

## 下部ファントレーおよび左右の電源装置

使用しているシステム構成の保守を行うには、必要に応じて、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) の束を外します。

左側では、次の手順を実行します。

1. 左側のファントレーまたは電源装置の場合は、フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、端から4つのケーブルの束をシステムの左側に持ち上げます。
2. この束を、すぐ近くのドアにある上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。
3. 上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) にかかる負担を減らすために、ケーブルをさらに引き上げて、ドアの下部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します (図 12)。

ケーブルをしっかりと固定して、コンポーネントを取り扱う際に必要なスペースを十分に確保します。

4. システムの背面の場合にのみ、保守ストラップ (No. 2) の下部のバックルを使用して束を固定し、クロスバーのストラップを再度調節して、ケーブルを締め直して持ち上げ、コンポーネントから離します。

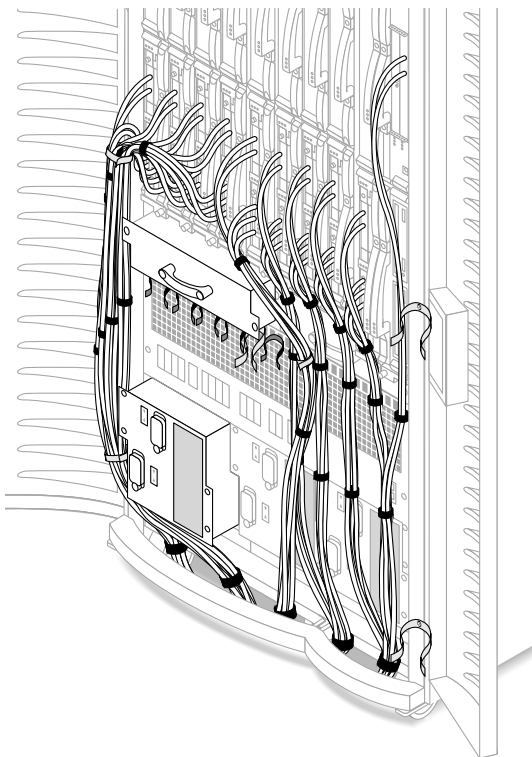


図 12 ファントレーおよび電源装置の保守 (正面左側)

5. システムの正面または背面で、次の束を持ち上げて、エアプリナムの右側の緑のケーブルハンガーストラップ (No. 1) に取り付けます。
6. システムの正面での保守作業が完了したら、緑のケーブルストラップおよび緑のケーブルハンガーストラップ (No. 6 および No. 1) を外し、すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。

7. システムの背面での保守作業が完了したら、緑のバックルストラップ (No. 2) の下のバックルを外して、上部クロスバーのストラップの端と緑のケーブルハンガーストラップ (No. 1) を元に戻します。すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。

右側では、次の手順を実行します。

1. 右側のファントレーまたは電源装置の場合は、フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、SC の束とその隣の 2 つのケーブルの束をシステムの右側に持ち上げます。
2. この束を、すぐ近くのドアにある上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。
3. 上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) にかかる負担を減らすために、ケーブルをさらに引き上げて、ドアの下部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。  
ケーブルをしっかりと固定して、コンポーネントを取り扱う際に必要なスペースを十分に確保します。
4. システムの背面の場合にのみ、すぐ近くのドアの保守ストラップ (No. 2) の下部のバックルを使用して束を固定し、クロスバーのストラップを再度調節して、ケーブルを締め直して持ち上げ、コンポーネントから離します。
5. システムの正面または背面で、次の 2 つの束を持ち上げて、エアプリナムの左側の緑のケーブルハンガーストラップ (No. 1) に取り付けます。

---

注 - ファントレーおよび電源装置の交換手順については、システムのサービスマニュアルを参照してください。

---

6. システムの正面での保守作業が完了したら、緑のケーブルストラップおよび緑のケーブルハンガーストラップ (No. 6 および No. 1) を外し、すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。
7. システムの背面での保守作業が完了したら、緑のバックルストラップ (No. 2) の下のバックルを外して、上部クロスバーのストラップの端と緑のケーブルハンガーストラップ (No. 1) を元に戻します。すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。

## 中央の電源装置

1. フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、左側の 5 つのケーブルセットをシステムの左側に、右側の 4 つのケーブルセットおよび SC ケーブルをシステムの右側に持ち上げます。
2. この束を、すぐ近くのドアにある下部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します (図 13)。

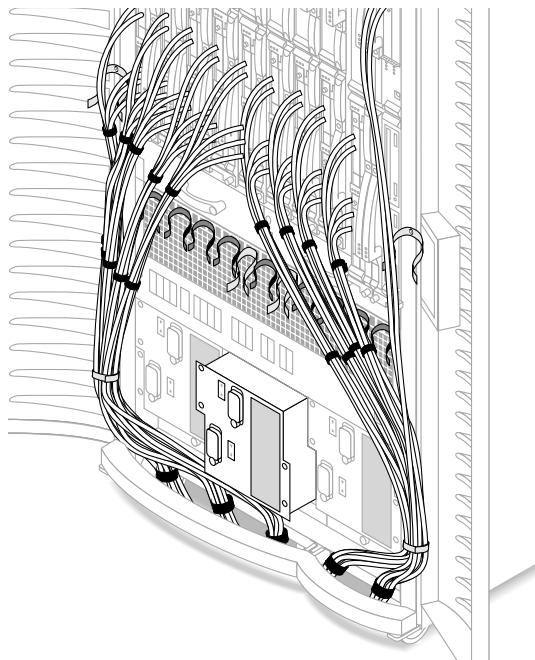


図 13 中央の電源装置の取り外し (正面)

3. システムの背面の場合にのみ、保守ストラップ (No. 2) の下部のバックルを使用して束を固定し、クロスバーのストラップを再度調節して、ケーブルを締め直して持ち上げ、コンポーネントから離します。

---

注 – 電源装置の交換手順については、システムのサービスマニュアルを参照してください。

---

4. システムの正面での保守作業が完了したら、緑のケーブルストラップ (No. 6) を外し、すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。
5. システムの背面での保守作業が完了したら、緑のバックルストラップ (No. 2) の下のバックルを外して、上部クロスバーの各ストラップの端を元に戻します。すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。

## エアフィルタ

左側では、次の手順を実行します。

1. 左側のエアフィルタの場合は、フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、5つのケーブルの束をシステムの左側に持ち上げます。
2. この束を、すぐ近くのドアにある上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。

ケーブルをしっかりと固定して、エアフィルタを取り扱う際に必要なスペースを十分に確保します (図 14)。

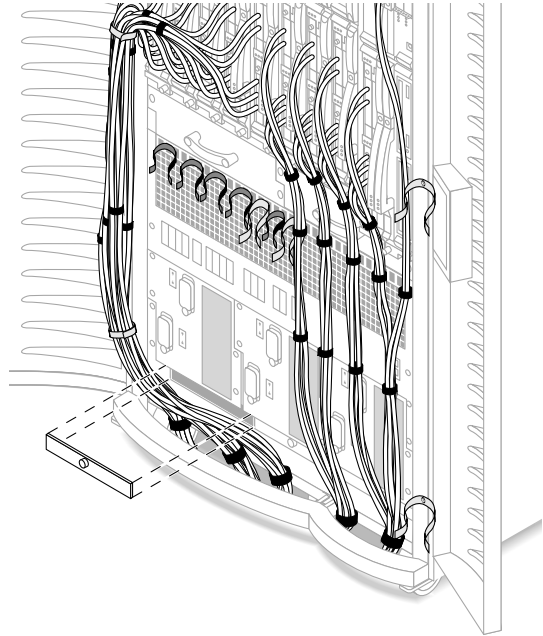


図 14 エアフィルタの取り外し (左側)

3. 上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) にかかる負担を減らすために、ケーブルをさらに引き上げて、すぐ近くのドアにある下部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。

ケーブルをしっかりと固定して、コンポーネントを取り扱う際に必要なスペースを十分に確保します。

4. システムの背面の場合にのみ、すぐ近くのドアの保守ストラップ (No. 2) の下部のバックルを使用して束を固定し、クロスバーのストラップを再度調節して、ケーブルを締め直して持ち上げ、コンポーネントから離します。
5. システムの正面での保守作業が完了したら、緑のケーブルストラップ (No. 6) を外し、すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。
6. システムの背面での保守作業が完了したら、緑のバックルストラップ (No. 2) の下のバックルを外して、上部クロスバーのストラップの端を元に戻します。すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。

右側では、次の手順を実行します。

1. 右側のエアフィルタの場合は、フロアタイルの下でたるませたケーブルを引き上げて、4つのケーブルの束および SC ケーブルをシステムの右側に持ち上げます。
2. この束を、すぐ近くのドアにある上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。  
ケーブルをしっかりと固定して、エアフィルタを取り扱う際に必要なスペースを十分に確保します。
3. 上部の緑のケーブルストラップ (No. 6) にかかる負担を減らすために、ケーブルをさらに引き上げて、すぐ近くのドアにある下部の緑のケーブルストラップ (No. 6) に固定します。  
ケーブルをしっかりと固定して、コンポーネントを取り扱う際に必要なスペースを十分に確保します。
4. システムの背面の場合にのみ、すぐ近くのドアの保守ストラップ (No. 2) の下部のバックルを使用して束を固定し、クロスバーのストラップを再度調節して、ケーブルを締め直して持ち上げ、コンポーネントから離します。
5. 中央のエアフィルタの場合は、「中央の電源装置」の節の手順を実行します。

---

注 - エアフィルタの交換手順については、システムのサービスマニュアルを参照してください。

---

6. システムの正面での保守作業が完了したら、緑のケーブルストラップ (No. 6) を外し、すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。
7. システムの背面での保守作業が完了したら、緑のバックルストラップ (No. 2) の下のバックルを外して、上部クロスバーのストラップの端を元に戻します。すべての I/O ボードセットケーブルを元の場所に戻して、エアプリナムの黒のケーブルハンガーストラップ (No. 3) で各ケーブルセットを固定します。

